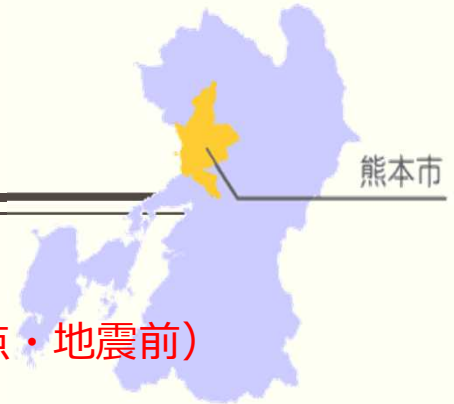




平成29年度 地域日本語教育スタートアッププログラム 熊本市～事業の状況について～

一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団

熊本市の現状



在留外国人数 **5,303人** (H30.1.1時点) ← **4,497** (H28.4.1時点・地震前)

総人口 **734,251人** (H30.1.1時点) ← **732,780** (H28.4.1時点・地震前)

域内の在留外国人の割合 **0.72%** ← **0.61%** (H28.4.1時点・地震前)

【国籍】 (H30.1.1時点)

中国**1,880** ベトナム**728** 韓国**532** フィリピン**518** ネパール**237**

【在留資格】 (H30.1.1時点)

永住者**1,614** 留学**1,151** 技能実習1号□**434** 家族滞在**359** 日本人の配偶者等**350**

これまでの取り組み

調査・分析

- ・ インタビュー調査
- ・ 東区の在住外国人を分析

2016年8～9月

視察

- ・ 県内の地域日本語教室(4か所)
- ・ 岡山県総社市、京都府亀岡市

2016年11月～12月

連携

- ・ 熊本市政策局国際課
- ・ 熊本市東区役所(会場提供)

2017年1月

準備

- ・ サポーターオリエンテーション
- ・ サポーター養成講座

2017年4月～5月

開始

- ・ 教室活動開始(毎月第1・3日曜日開催)

2017年6月～

日本語交流サポーターの養成



サポーターオリエンテーション(2017年4月)

- ・2回開催。熊本市内外から53名が参加した。
- ・熊本地震で閉鎖となった教室を再開
→多文化共生社会の拠点作り
- ・日本語を“教える”のではなく、日本語で“交流”する教室であることを強調。



サポーター養成講座(2017年5月)

1. 「やさしい日本語」／外国語としての日本語
2. 日本文化体験デー(実践交流)
3. 実践練習(プレ・イン活動)

東区くらしのにはんごくらぶスタート

(身近なテーマで会話中心の活動)



七夕飾り・短冊作り



地域の商店街
の七夕祭りへ参加



プレ・イン
「自分の国の紹介」



プレ・イン
「旅行の思い出」



プレ・イン
「熊本地震」



教室全体の様子



イラクのお菓子作り
& 交流会



サポーター振り返り

「東区くらしのにはんごくらぶ」 facebook <https://www.facebook.com/higashiku.nihongokurabu/>

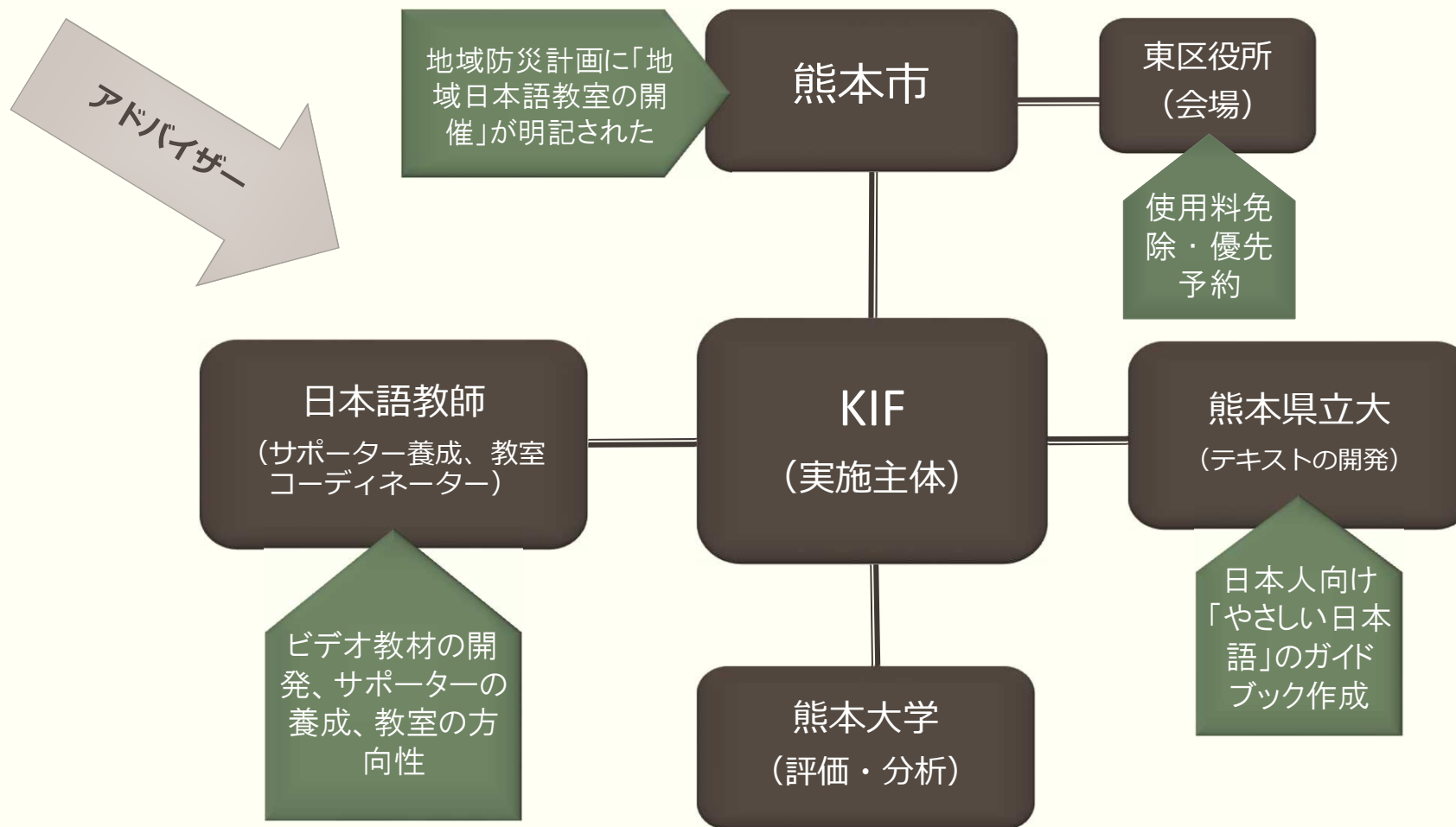
コーディネーターの主な活動

- ニーズ調査：4.5（H）
- 体制整備のための調整：13（H）
- 人材育成のための調整：118（H）
- 日本語教室開設に向けた調整：175(H)
- 教材作成に向けた調整：66（H）
- その他（地域視察，現状説明）：3（H）

アドバイザーの主な活動・助言

- 日本語交流サポーター育成：経験を基にした多数のアドバイス（実践例、サポーター自身の振り返りに関すること等）
- 教室運営：アドバイスで、多文化共生社会の拠点となる教室づくりという方向性の確立ができた。
- 日本語サポーターへの直接のアドバイス
- 県外日本語教室、先進地事例の紹介
- コーディネーターの役割に関するアドバイス
- 日本語教室のチラシ作成や広報の方法に関する提案,アドバイス
- その他、多文化共生や地域日本語教室等に関する情報提供

平成29年度の実施体制及び実績



平成29年度の課題と今後の予定

【東区の教室】

- ・ターゲットとしている地域の外国人への広報
- ・成果をどのように評価していくかの指標づくり
- ・日本語交流サポーターが主導で進める教室運営へのシフト
- ・在住外国人が、より広く地域コミュニティ（自治会、子ども会など）で活動できる地域づくり（日本語交流サポーターという点からの広がりを推進する。）

【新設教室】

- ・西区での教室開設に向けた準備。（方向性の検討、会場の確保、関係各所との連携、サポーターの募集と養成、外国人住民への広報等） →教室の開設・運営